

怪しい雰囲気 のホームページ作り

澤田 一史

1. まえがき

UMAやオカルトなどについてのホームページを作成した理由は、一つは前からUMAやオカルト等に興味があったことである。もう一つは課題研究のホームページ班の課題が、自分の興味あることを題材にホームページを作ることであったからである。

まず、UMAやオカルト等について調べ、怪しい雰囲気のホームページを作ること目標にした。ページデザインは、文字の大きさや色を考え、見やすいホームページの作成をめざした。

2. 作成方法

テキストエディタのEmEditorによりHTMLタグを使いプログラミングした。ホームページに掲載している画像はアクセサリのペイントを使って描いた。

3. 研究内容

UMA、オカルト、都市伝説、ジョン・タイターなどに興味があったのでそれらについて調べ、HTMLでページにまとめた。

UMA（ユーマ）とは科学的にはその存在が確認されていない未知の生物の呼称である。

オカルトとは元来は「隠されたもの」という意味のラテン語に由来する表現で、目で見たり、触れて感じたりすることのできないこと。

都市伝説とは現代に発祥し、典拠が不明な噂や伝説のことである。

ページデザインは、ページ毎に背景色と文字の色を変えて見やすくし、動く文字を使うことで閲覧者を飽きさせないよう工夫したり、ページ間を相互リンクさせることで他のページを見

やすくしたりと工夫した。

UMAやオカルト、都市伝説を調べてみた

図1 黄色い文字が左にスクロール



図2 ポイントにはアンダーバー



図3 ページ毎のリンク

調べた事柄はUMA系のシーサーペントとモンゴリアン・デス・ワーム、オカルトのひとりかくれんぼ、都市伝説のエシュロン、そしてジョン・タイターについてである。

以下、これらについて少し説明する。

UMA系

- ・シーサーペント：蛇に似た海潜生物のUMA
- ・モンゴリアン・デス・ワーム：ゴビ砂漠周辺に生息しているという巨大なミミズのようなUMA

オカルト

- ・ひとりかくれんぼ：人形を使った呪いの儀式
- 都市伝説
- ・エシュロン：世界中の通信を傍受しているといわれるアメリカ（NSA）の軍事システム
- 未来からタイムスリップしてきた男
- ・ジョン・タイター：2000年にアメリカのインターネット上に現れた、2036年からやってきたというタイムトラベラーを自称する男性

4. 作品について

背景の色や文字などをこだわったり、見ている人を飽きさせないように絵や写真を入れたり工夫した。ペイントで変な感じの絵を描き、それをトップページに置くことで閲覧者に胡散臭い印象を与えるようにした。



図4 トップページの画像

遊び要素としてトップページにあるリンクの一つ（ジョン・タイターのページ）の文字の色と背景色を同じにし、ただトップページを眺めているだけでは分からない仕掛けを作った。



図5 トップページのリンク

このページは、トップページにあるリンクをドラッグしないと見つからないというものになっている。この隠しページが見つからないようにする為、隠しページのリンクの文字を小さくし、行の間を詰めることでその行の間にページがあるということが分からないようにした。他のページのリンクと見比べても分からないよう、違和感を与えないように工夫した。

5. あとがき

自分で作ったページが人に見られると考えるとどのようなホームページを作るべきか考えるのに苦労したが、閲覧者が楽しんでくれたらと考えて趣向を凝らしたホームページを作ろうと考えた。今回目指したのはアンダーグラウンドな感じの怪しい雰囲気のあるホームページだったので、作成したホームページも怪しい感じにまとめることが出来たので、目標通りのものを作成することが出来て良かった。

今回のホームページ作成で実感したことは、一枚のページを作成するのに2時間くらいかかるということである。ホームページ作成の手順は、まずはどのようなホームページにしたいのかを考え、次に実際にプログラミングを試してみる。すると考えていたものと違ったり、もしくは今のものよりも良いものを思いついたりすることもある。そうすると自分がイメージしていたものと違うものになるので、もう一度作りたいホームページをイメージし、ホームページの閲覧者にどう捉えて欲しいのかを具体的に考えてから新しく思いついた事柄を取捨選択し、ミックスアップする。そしてある程度完成したら記述に間違いがないか等をよく調べ、もしあれば間違いを修正し、なければこれでやっとなし完成である。この工程を一つのページ毎にやるので制作時間は長くなる。

完成させた作品の反省点は、文字ばかりになってしまったところや、全体的に似たようなページ構成になってしまったところが欠点である。課題研究とは別に個人でホームページを作る機会があれば、次回はそれらの点に注意して作成したい。

次にホームページを作るときの制作目標は、もっと多くの絵を挿入し、文字自体に楽しめる要素（例 文字が動く、点滅する）を加えたりすることで、もっと閲覧者が楽しめるような完成度が高いホームページを作ることである。